

# 東海経済レポート

## （2020年11月）

～東海経済は着実に持ち直しているものの、先行き不透明感が強まる～

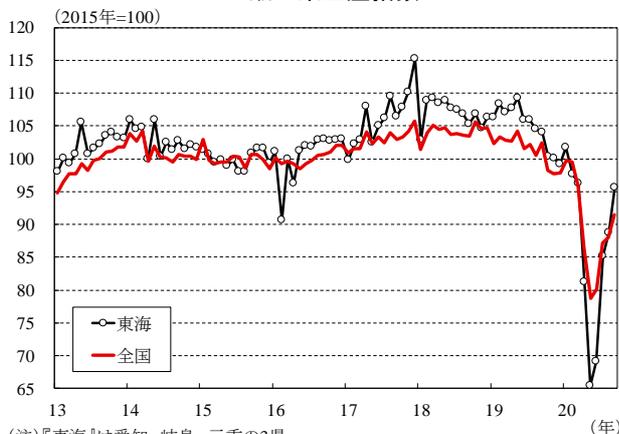
### 【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は新型コロナウイルス感染症の影響で依然厳しい状況は残るものの、これまでのところは着実に持ち直しの動きが続いている。但し、当地を含め国内外での感染再拡大を受けて各種行動制限が再度強化されるなど、内外需ともに先行きの不透明感は再び強まっている。今後の回復ペースは次第に緩やかになるとみられ、コロナ禍前の経済活動水準への回復には相当な時間を要する見通しである。
- 生産は、9月の鉱工業生産指数が前月比+7.7%と4ヵ月連続で上昇し、水準は95.6とコロナ禍前の約9割程度となった。品目別では、当地域主力の輸送機械が前月比+11.4%、電気機械が同+4.9%、電子部品・デバイスが同+2.0%とそれぞれ増加した。また、生産用機械は同+0.3%と底入れの兆しをみせている。
  - 設備投資については、4-6月期の大企業の投資額は、前月報告分から不変（前年比+5.0%と5四半期ぶりにプラス）。金属工作機械の9月の国内受注額（当地区主要8社）は、前年比▲18.1%減少したが、減少幅は前月（同▲26.7%）より縮小した。
  - 10月の輸出額（円ベース）は、前年比+2.5%と2ヵ月連続で増加した（全国ベースでは同▲0.2%と依然としてマイナス圏）。米国向けが同+13.7%、中国向けは同+12.5%と堅調に推移するも、EU向けは同▲4.5%と減少が続いた。品目別では、当地域主力の自動車と同+4.6%、自動車部品も同+6.0%と増加した一方、一般機械は同▲2.8%（18ヵ月連続の減少）と厳しい状況が続いている。
  - 9月の有効求人倍率は、岐阜、三重が下げ止まったものの、昨年まで高水準を維持していた愛知は低下が続き、1.01倍と3ヵ月連続で全国（1.03倍）を下回った。
  - 個人消費関連では、9月の小売主要3業態の販売額は、昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動が現われ、スーパーが前年比▲1.7%、百貨店は同▲34.8%、コンビニは同▲4.8%となった。
  - 10月の景気ウォッチャー調査は、現状判断DIが52.9と、6ヵ月連続の前月比改善且つ2018年5月以来初めて好不況の分かれ目である50を上回った。
  - 9月の住宅着工戸数は年率換算6.8万戸、前年比▲21.7%と5ヵ月連続で全用途がマイナスとなった。用途別では、持家が同▲4.6%、分譲戸建てが同▲21.5%となり、共にマイナス幅が縮小したが、貸家（同▲37.6%）と分譲マンション（同▲21.7%）は、マイナス幅が拡大した。

### 【生産①】

9月の鉱工業生産指数は前月比+7.7%と4ヵ月連続で上昇。水準は95.6とコロナ禍前の約9割程度。

鉱工業生産指数

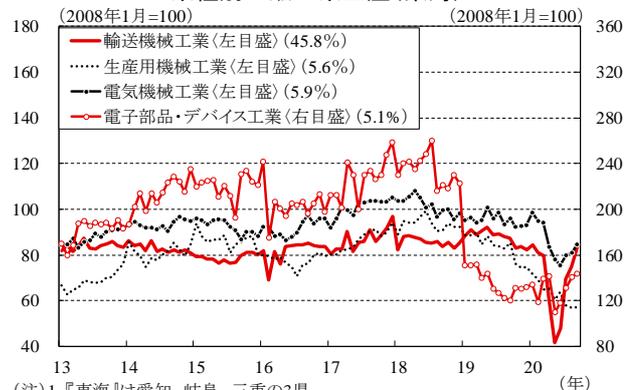


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②主要品目別】

輸送機械、電気機械、電子部品・デバイスは夫々前月比増加。生産用機械も同+0.3%と底入れの兆し。

業種別の鉱工業生産(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. ( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)  
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

4-6月期の大企業の設備投資は、前年の落ち込みの反動で、前年比+5.0%と5四半期ぶりのプラス。

大企業の設備投資

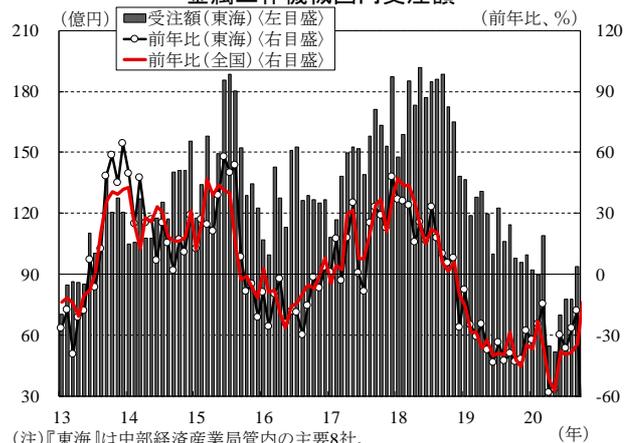


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2. 資本金10億円以上の企業を対象。  
3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出  
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

9月の金属工作機械の国内受注額は前年比▲18.1%の減少。前月(同▲26.7%)よりマイナス幅は縮小。

金属工作機械国内受注額

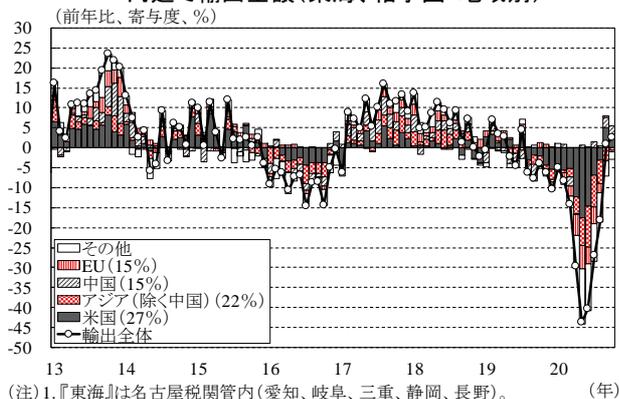


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

10月の輸出額(円ベース)は前年比+2.5%と2ヵ月連続でプラス。米国・中国向けが前年比増加。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

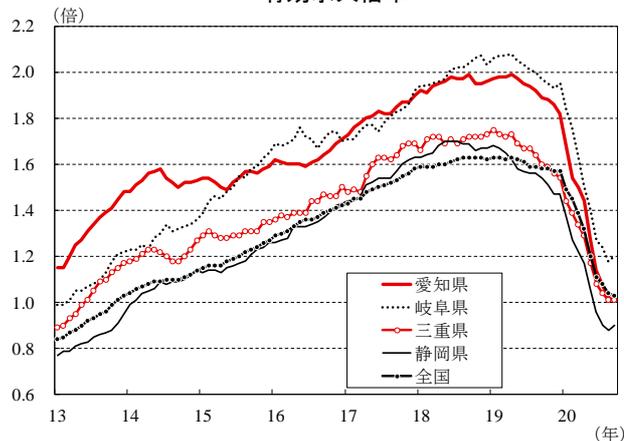


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2. ( )内の数値は2019年輸出総額に占めるシェア。  
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。  
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

9月の有効求人倍率は、岐阜・三重は下げ止まりも愛知は低下続き1.01倍。岐阜以外は全国(1.03倍)を下回る。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【個人消費】

9月の小売主要3業態の販売額は、昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動で3業態全て前年比減少。

小売主要3業態の販売動向(中部)

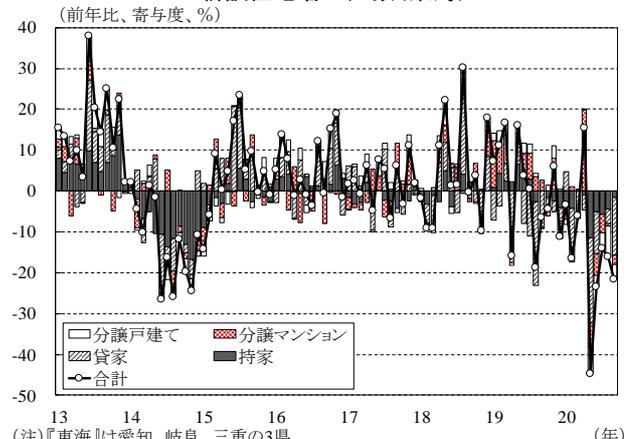


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【住宅投資】

9月の住宅着工戸数は前年比▲21.7%と5ヵ月連続で全用途で減少。

新設住宅着工戸数(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【景気ウォッチャー調査】

10月の現状判断DIは52.9と、6ヵ月連続の前月比改善且つ2018年5月以来初めて50を上回った。

景気現状判断DI

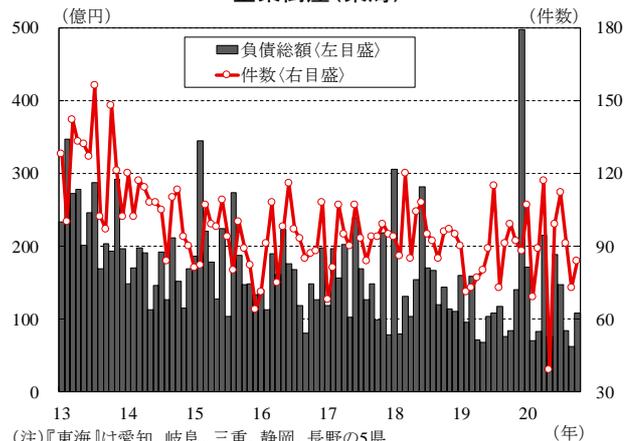


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【倒産件数】

10月の企業倒産件数は84件(前年比▲15.2%)と減少も、負債総額は108億円(同+29.5%)と増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【原油価格】

WTIはワクチン開発やOPECプラスの減産規模縮小延期観測(=供給抑制持続)を好感し40ドル台で推移。

原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 【円相場・株価】

日経平均株価はワクチン開発等を好感し2万6千円台に上昇。為替は1ドル104円前後で推移。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

福田 洋子 youko\_2\_fukuda@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。